



令和6年9月4日

小児がん現状知って 広島城ライトアップ

世界小児がん啓発キャンペーン～9月11日点灯式

情報提供

全国の小児がん専門家による NPO 法人「日本小児がん研究グループ（JCCG）」は、「世界小児がん啓発キャンペーン：Global Gold September Campaign」に協力、今年も全国各地でゴールドのライトアップに取り組みます。広島では4年連続で広島城をライトアップし、初日に点灯式を実施します。小児がんの啓発活動や家族の支援を進めている「がんの子どもを守る会」広島支部メンバーからも参加、オンラインでつないだ広島大学病院小児病棟では、弦楽四重奏の演奏もしていただきます。今年も趣旨に賛同いただいた村上農園の協力を得ています。

点灯式：9月11日（水）19:00～ 広島城お堀北側の公園
※中継で結んだ広島大学病院小児病棟での弦楽四重奏
の後、19:20 頃に点灯

出席者：広島大学病院小児科 岡田 賢教授
川口 浩史准教授
唐川 修平講師
村上農園 村上 清貴代表取締役社長
がんの子どもを守る会広島支部
藤川 京子代表幹事



弦楽四重奏：後藤明子さん（ヴァイオリン）、今井千晶さん（同）、増田喜代さん（ヴィオラ）、
宮本隆一さん（チェロ）

点灯期間：9月11日（水）～17日（火）日没～22時

主催：日本小児がん研究グループ（JCCG）
運営：Global Gold September Campaign 推進委員会
協賛：株式会社村上農園
後援：広島県、広島市、広島大学病院

白血病や脳腫瘍などの小児がんは10～14歳の子どもの死因の第1位で、年間の新たな発症は約2000～2500人です。まだ救えない命を救うための治療の開発や、治療を終えた子どもがその先の長い未来を安心して健康に過ごせるようなサポート体制の確立など、課題は山積しています。現状を広く知っていただき、小児がんと向き合う子どもたちや、長い治療を乗り越えた子どもたち、そのご家族や医療従事者らの励ましとなるべく、小児がんの「アウェアネスリボン」カラーであるゴールドの明かりで未来を照らしたいと考えています。

広島大学病院は中四国唯一の小児がん拠点病院として、地域診療の中核を担っています。

【問い合わせ先】

広島大学病院 広報・調査担当役 持田
Tel : 082-257-5418 FAX : 082-257-5087
E-mail : byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp
発信枚数：A4版 1枚（本票含む）

